

二〇二三年度 早稲田大学文学部 学士入学試験問題

【東洋哲学コース】

※解答は別紙（縦書）

【科目名：専門科目】

問題一 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

（１）子墨子曰、天下從事者、不可三以無法儀。〔（２）無法儀二而其事能成者、無レ有也。雖レ至下士之爲二將相一者上、皆有レ法。雖レ至二百工從事者一、亦皆有レ法。〕（３）百工爲レ方以レ矩、爲レ圓以レ規。直以レ繩、正以レ縣、平以レ水。無二巧工不巧工一、皆以二此五者一爲レ法。〔（４）巧者能中レ之、不レ巧者雖レ不能レ中、放依以從事、猶逾レ已。故百工從事、皆有二法所レ度。今、大者治二天下一、其次治二大國一、而無二法所レ度、此不レ若二百工辯一也。〕

注 ○子墨子 墨子（墨翟）。 ○將相 將軍や宰相。

○矩 定規。

○規 コンパス。

○縣 はかり。

○放依 模倣し頼る。

○中 使いこなす。

○逾 まさる。

○已 やめる。

○度 のつとる。

○辯 わきまえ。

問一 傍線部（１）（２）を漢字仮名混じりの書き下し文になおせ。

問二 傍線部（３）（４）を現代語に訳せ。

問三 この文章の主旨を簡潔に記せ。

問題二 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。（返り点等を省略した箇所がある）

一縁レ事四弘願。是即衆生緣慈。或復法緣慈也。二縁レ理四弘。は無緣慈悲也。言二

縁レ事四弘一者、一衆生無邊誓願

1。

應レ念、一切衆生、悉有二佛性一。我皆令レ入

二無餘涅槃一。此心即是饒益有情戒。亦是恩德心。亦是緣因佛性。應身菩提因。二煩

惱無邊誓願 2。

此是攝律儀戒。亦是斷德心。亦是正因佛性。法身菩提因。三法

門無盡誓願 3。

此是攝善法戒。亦是智德心。亦是了因佛性。報身菩提因。四無

上菩提誓願 4。

此是願求佛果・菩提。謂由具足前三行願、證得三身圓

滿菩提。還亦廣度一切衆生。二緣理願者、一切諸法、本來寂靜。非有非無

非常非斷、不_レ生不_レ滅不_レ垢不_レ淨。(1)一色一香無非中道。生死即涅槃、煩惱

即 5。翻一一塵勞門、即是八萬四千諸波羅蜜。(2)無明變爲明。如融冰成

水。更非二遠物。不_二餘處來。但一念心、普皆具足。(3)如如意珠非有寶非無寶。

若謂_レ無者、即妄語。若謂_レ有者、即邪見。不_レ可_二以_レ心知。不_レ可_二以_レ言辯。衆

生於_二此不思議不縛法中、而思想作_レ縛、於_二無脫法中、而求_二於脫。是故普於_二

法界一切衆生、起_二大慈悲興_二四弘誓。是名_二順理發心。是最上菩提心。

問一 文中の空欄 1

2

3

4

に入る漢字一字を次の中から選び、記せ。

知 斷 證 度

問二 空欄 5

に入る最も適当な漢字二字の語を本文中から探して、記せ。

問三 傍線部(1)(2)(3)を漢字仮名混じりの書き下し文に直し、意味を簡単に説明せよ。

受験番号	
氏名	カナ
	漢字

この欄以外に受験番号、氏名を記入しないこと。
漢字氏名がない場合は、ひらがなで記入すること。

学士入学試験 解答用紙
〔東洋哲学コース〕
〔科目名〕 専門科目 〔

——ここから記入すること——

問題一

問一

(1)

(2)

問二

(3)

(4)

問三

総 点

--

(裏へ続く)

問題二

問一

空欄1

空欄2

空欄3

空欄4

問二 空欄5

問三

(1) 書き下し文

説明

(2) 書き下し文

説明

(3) 書き下し文

説明

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——